

## 第2学年 学級活動(1) 指導案

2年 組 名  
指導者

### 1 議題 「2年2組のミニうんどう会をしよう」(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

#### 2 議題について

##### (1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく素直で、何事にも一生懸命取り組むことができる。

学級活動では、4月に、みんなで考え、話し合い、学級目標を決めた。その後、「学きゅうのうたをつくらう」「1学きががんばったねパーティをしよう」「2学きのかかりをきめよう」「〇〇先生 どうぞよろしくの会をしよう」などの議題で話し合ってきた。回数を重ねるごとに進行の仕方が分かり、教師の支援を受けながら計画委員の児童が話し合いを進めることができるようになってきており、フロアの児童も、徐々に自分の意見と理由を積極的に発表できるようになってきている。自分の意見を発表することが苦手な児童もいるが、話し合いの経験を重ねる中で、少しずつ自信をつけてきている。また、多くの児童が、学級会で話し合っただけの決めたことを、みんなで協力してやり遂げる楽しさや大切さを感じている。

##### (2) 議題選定の理由

9月下旬、児童は、運動会に向けて練習を開始した。いろいろな競技の練習に全力で取り組む中、児童の「1年生の時よりもわくわくして楽しい運動会にしたい」という思いが高まっていった。そこで、「わくわくして楽しいうんどう会にするためのくふうを考えよう」という議題で話し合い、「2年2組の万こくきをつくる」と「みんなでおうえんをする」の2つが決まった。児童一人一人が万国旗を作り教室に掲示したり、みんなでかけ声や拍手の練習をしたりして、みんなの思いが一つになった。運動会当日は、協力し合って演技したり、一生懸命競技や応援をしたりして、練習の成果を発揮してがんばることができた。

本議題は、「今度は、2年2組のみんなでミニ運動会をやって、もっと仲良くなりたい。」という複数の児童の思いから提案されたものである。その提案を受け、計画委員と本議題を選定し、帰りの会で示したところ、学級全員からの賛成で決定した。話し合い活動や実践において、運動会での経験を生かし、さらに学級での一体感や力を合わせることに楽しさを感じることを願っている。

##### (3) 指導にあたって

本時は、これまで実施してきた話し合いと同様に、事前に自分の考えを学級会ノートにまとめておいたり、発表の話型を活用したりするなどして、一人一人が自信をもって発言できるようにする。計画委員の児童と事前に打合せを行い、フロアの児童も提案理由や話し合いのめあてを意識して話し合うことができるようにしたい。計画委員の児童は、今年度2回目の進行になるが、前回とは司会、副司会、黒板記録、ノート記録の役割を交代している。それぞれが見通しをもって役割を果たせるように、事前の打ち合わせの中で学級会の流れを確認しておく。児童が、提案理由に沿って活発に話し合い、みんなが納得する決定ができるよう支援していきたい。

### 3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	時間	指導助言	評価規準
話し合いの計画・準備	議題選定・役割分担 (計画委員) 議題決定(全員)	10/15(水) 業間休み 帰りの会	提案理由を確認し、学級の実態に合った議題を選ぶよう助言する。	○議題決定の仕方について理解している。 (知識・技能)
	話し合うことの検討・決定 (計画委員)	10/16(木) 業間休み	話し合いのめあてや内容、順序、時間配分を考えて計画を立てるよう助言する。	○学級会についての見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度)
	自分の意見をまとめる (全員)	10/17(金) 4校時	提案理由を踏まえた自分の意見をもって話し合いに参加できるよう助言する。	
	話し合いの準備・確認 (計画委員)	10/20(月) 業間休み	意見を整理しながら短冊に書かせる。みんなの考えを話し合いで生かせるよう助言する。	
話し合い	「2年2組のミニうんどう会をしよう」 (全員)	10/27(月) (本時)	本時の活動に記載	
実践	実践 (全員)	11/13(木) 4校時	楽しく意欲的に活動ができているか見守り、必要に応じて助言や称賛をする。	○計画に従い、友達と協力して、仲良く活動に取り組んでいる。 (思考・判断・表現)
振り返り	振り返り (全員)	11/14(金) 4校時	よかった点は十分称賛し、反省点は次の活動に生かせるよう助言し、意欲付けをする。	○実践を振り返り、自分や友達のよいところを認めるとともに、次の活動に生かそうとしている。 (主体的態度)

